

宮古毎日



週刊

こども

新聞



季節の野菜たち

白菜シユーマイ

おいしくヘルシーに

寒い季節に白菜はなべ物などいろいろな料理で大活躍。めずらしくヘルシー

な白菜で包んだシユーマイは... ①白菜の葉のやわらかい部分を7枚角ほどに切り、さっとゆでて水気を取って...



「小さいころからの夢だった。世界最高峰のモトGPはきつと厳しい世界だけど、世界一になりたいし、できると思っている」と話す中上貴晶選手=2017年10月10日、東京都港区

強い日本人選手 日本人選手が海外で活躍するスポーツはたくさんありますが、ヨーロッパで人気のオートバイレースでも多くの日本人選手が昔から活躍し、1961年に高

日本のほかアメリカ、ヨーロッパなど世界15カ国、19のサーキットを転戦するオートバイのロードレース世界選手権の最高峰モトGPに2018年、4年ぶりの日本人ライダーとして中上貴晶選手(25)が参戦します。「4歳からレースをやってきて、世界一のライダーになるのが夢だった」と勝利に向けて闘志を燃やしています。



4年ぶりに日本人選手が参戦

ロードレース世界選手権のクラス分け



モトGP 排気量(はいきりょう)1000cc、最高速度350キロ。メーカーが最初から作ったプロトタイプ... モト2 排気量600cc、最高速度290キロ。エンジンは同じメーカーのものを使い、車体はいくつかのメーカーを使用... モト3 排気量250cc、最高速度240キロ。ホンダやKTM(オーストリア)などのメーカーからマシンを買った独立したレーシングチームが多数参戦。

オートバイの世界最高峰モトGP 中上貴晶選手

国内販売は減少 国内販売は減少しているのが現状。しかし、日本国内での売れ行きは減っていないのが現状。

オートバイに乗らなくなったことなどが考えられますが、中高年の人が再び乗りだしたり、軽量級スポーツモデルの人気の高まりたりするなど復活のきざしもあります。

橋本光選手が当時の西ドイツランプリ(GP)の250ccクラスで初優勝。1990年代から2000年代にかけて多くの日本人選手が参戦し、現在とは異なるクラス分けだった時代の12



大切なライバル 現在の世界選手権は250ccのモト3、600ccのモト2、1000ccのモトGPに分かれ、中上選手はモト2での好成績が認められ、チームLCRホンダからモトGPに参戦します。出身国の総合王者や、軽量級クラスを制した速いライダーたちと最高速度350キロでバトルします。



国際観光旅客税(出国税)

旅行や仕事などで航空機や船を使って日本から外国に出る場合、運賃に1000円を上乗せする形で納める税金が「国際観光旅客税」です。この税は日本人、外国人を問はず。観光対策を進める財源に使うためとして、政府が2019年1月からの導入を目指しています。